

特集1

# 「119」

## いのちと向き合う救急最前線

気をつけていても、事故やけが、急病は、いつ、どこで、おそってくるかわかりません。いのちが危険にさらされ、一刻を争う…そんなとき、赤色灯を回しサイレンを鳴らしてかけつけてくれる救急車、そして、どんな緊急事態にも動じることなく、適切な処置や手当で最善を尽くし、安全に迅速に、傷病者を搬送してくれる救急隊の何と頼もしいことでしょう。

救急車は、安心への備え。必要なときに、必要な人が利用する、わたしたちの共有財産です。みんなの財産は、みんなで正しく理解し、大切にしないてはいけません。そこで今回は、救急の仕事や救急車の利用について、そして救命について、考えてみたいと思います。

### 岡谷消防署救急車の出動(平成23年)

出動件数…1,796件

岡谷市内の医療機関に全体の約70% 1201人を搬送

事故種別…急病1,082件／一般負傷261件  
／交通事故142件

年齢別…高齢者1,088人／成人486人／少年75人  
／乳幼児・新生児54人

傷病程度…軽症511人／中等症820人  
／重症336人／死亡36人

現場到着までの時間…平均5.2分(全国平均8.2分)  
岡谷も全国も年々時間がかかる(長くなる)傾向です

1日の平均件数…4.9件(多い日には10件にも…)

### 平成14年から23年の救急出動件数



岡谷市の年間の救急出動件数は、10年前と比較して約17.1%増加し、平成22年には1,816件と過去最高を記録しました。前年比の増加率についても、22年は16.2%と高い増加率でした。近年の出動増加の要因としては、「高齢傷病者の増加」、「緊急性の低い場合の要請の増加」、また、平成22年の夏は、とくに猛暑だったことなども影響していると考えられます。平成23年も、引き続き非常に多い出動件数となっています。



# 拜見！救急車

岡谷消防署は、高規格救急車を3台保有しています。高規格救急車は、救急救命士が行う高度な救命行為に必要な資器材を積載、救急隊員の活動スペースも広く、応急処置などがしやすくなっています。デザイン的には、車内で立ったままの作業にも対応し、スーパーハイルーフよりさらに高く屋根が改造されています。



運転席の中央には、ナビゲーションシステム、サイレン関係、無線機など

## 除細動器

血液を全身に送るポンプの役目をしている心臓が、何らかの原因でけいれんを起こしているような場合に、電気ショックでけいれんを止める装置です。



## ベッドサイドモニター (患者監視装置)

傷病者の状態を観察する装置で、心電図、血圧、脈拍などを測定、記録します。プリントもできます。



ベッドサイドモニター、除細動器、酸素吸入器、吸引器、バックボード、防振架台、酸素ポンプなど



## 救命バック

救命士が救急救命処置に使用する資器材が入っています。



## 防振架台

ストレッチャー固定部に、防振装置がついていて、走行時の振動が、傷病者の苦痛やストレスにならないよう配慮されています。



## 救急車…呼ぶ?! 呼ばない!?

救急車の台数には、限りがあります。「救急車で行けば、優先的に診察してもらえ」「通院だけど車がないから、タクシー代わり」…こんな使い方をしていたら、ほんとうに救急車が必要な人への対応が遅れ、救える命を救えなくなる可能性があります。救急車は、緊急事態に使うもの。自分で病院に行かれる軽い症状の場合や定期的な通院などには、バスやタクシーを。まずは冷静に考えて、必要ならばためらわず「119」を。当たり前のことを、当たり前にしていけば、一刻も早く病院に行かなくてはいけない人の手助けになります。みんな協力していきましょう。

## 119番通報のしかた

119番に電話をする時、署員(指令員)が必要なことを、順番に伺います。質問にそって、あわてず、返事をしっかりとください。

**指令員** 火事ですか、救急車ですか？

**あなた** 「救急です」

**指令員** 場所はどこですか？

**あなた** 「△△町〇丁目〇番〇号です」

住所がわからない場合は、□□の近く(コンビニなど)、目印を伝えてください。

**指令員** どうしましたか？

**あなた** 「父親が頭が痛いといって倒れました」

誰が、どのようにして、どうなったか簡潔に伝えてください。

続いて指令員が、意識・呼吸の有無、具合の悪い人の年齢(わからなければ)

には「60代のように見える」など、あなたの名前と連絡先などをうかがっていきます。通報後に折り返し問い合わせることもありますので、連絡のつく電話番号を伝えてください。

## 救急隊が到着するまでにできること

救急車の誘導に人が出ていると、早く到着できます。

### 【用意するもの】

保険証、診察券、普段飲んでいる薬(おくすり手帳)、現金(できれば)、靴

### 【救急隊に伝えること】

事故や具合が悪くなった状況、救急隊到着までの変化、行った応急手当の内容、具合の悪い人の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)

※ふだんから、持病、かかりつけ医院などをメモにまとめて、いざというときの備えにしておきましょう。



# 救急隊・救急救命士

## 服装

グレーの救急服(えりは清潔感を表す白)

三宅一生(イツセ

イ・ミヤケ)のデザ

イン。20年以上前、

誰がみても「救急隊」

「救急救命士」と認

識できるようにと、

救急隊の地位向上の願いを込めて全

国統一でつくられました。



## 感染防止衣

血液などから感染症にかからないよう、感染防止衣・手袋・ゴーグル・マスクなどをつけます。



## 勤務

朝8時30分から翌日の朝8時30分までの24時間勤務です。119番通報があると、救急入電の情報が署内に放送されます。これが出動準備の合図。救急要請と同時に、救急車が出発できるようにしています。

## 編成

救急隊は3名編成で、安全に迅速に病院へ運ぶ機関員(運転手)と、患者の応急手当をしながら容態を医師に知らせる救急隊員2名が乗っています。救急隊員のうち1名は、高度な救急処置ができる救急救命士です。救急隊、消防隊、レスキュー隊は、専任ではなく兼任のため、出動が重なった場合などは、オレンジの救助服や紺色の消防服の隊員も、感染防止衣を着て出動します。



岡谷消防署の救急救命士14名のうち  
気管挿管、薬剤投与認定救命士…5名  
薬剤投与認定救命士…2名(平成23年現在)  
病院研修などを行い、各認定救命士が年々増えています。

## 救急救命士のつとめ

救急救命士は、医師の指示のもと、心肺機能停止の傷病者に救急救命処置をすることが可能な国家資格を持っています。

### 「救急車内でもこんな処置をします!」

#### ● 除細動器による除細動

(救急隊員も実施可能)

平成23年中、除細動実施で社会復帰につながった症例が2例あり

#### ● 静脈路確保のための輸液(点滴)

静脈路を確保しておくことで、病院で薬剤投与が早くできる

#### ● 気道確保(食道閉鎖式)

チューブを入れ、空気の通り道を確認し、呼吸を助ける

#### ● 気管挿管(認定救命士)

チューブを気管に挿入し、肺に直接空気を送る

#### ● 薬剤投与認定(認定救命士)

アドレナリン投与(強心剤、心臓の筋肉の収縮力を高めたり、全身の血液を戻りやすくする)



## 医師と連携

救急救命士を含めた救急隊員の医学的な質を保障向上するために、諏訪地域では「諏訪地域メディカルコントロール協議会」が組織され、「医師からの指示、指導、助言を受ける」「処置の事後検証をする」「教育研修をする」「体制が確立され、医師と連携した活動を強化しています。」

## 応急手当って大切!

心臓に原因があつて突然倒れたような場合、そのときの心臓は、筋肉が不規則にブルブルと震える状態「心室細動」になっていることが多いです。この状態のうちに除細動すれば、社会復帰も可能なのですが、残念なことに、心室細動の状態は長く続きません。そこで、応急手当です。人工呼吸と心臓マッサージは、心臓が停止したと思われる人の脳へ血流を作り、脳障害の発生を遅らせることや、心室細動の時間を長引かせて除細動できる時間を稼ぐことを可能にします。

救急車が来るまでに、何らかの処置をしないと命が助からない場合も多いのです。処置が、その後の経過を左右するともいえます。市民↓救急隊↓医師へ、いのちのバトンをつなぐ「救命のリレー」を途切らせないように、冷静な観察と判断力を身につけ、家庭や職場でできる正しい応急手当を学びましょう。



岡谷消防署  
救急救命士  
消防司令 玉置 淳さん





毎年開催しています。ご参加ください！ 応急手当・救命講習会

● 普通救命講習

(おもに成人の心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法など)

● 上級救命講習

(小児・乳児も対象に含んだ心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法)

● 応急手当普及員講習

事業所、自主防災などで地域のリーダーとして応急手当普及をしていく指導者の講習会

【救命の事例】

高齢者が、急に意識、呼吸をなくしたため、居合わせた人が心肺蘇生法を開始。AEDによる除細動を実施しました。5分後に救急隊が到着した時には、意識はないものの呼吸脈拍が戻り、血圧も測定できる状態まで回復しての病院搬送となり、その後、高齢者は通常の生活に戻りました。

※市の公共施設には、AEDが設置されています。

まずは予防救急から！

突然に心臓や呼吸が止まってしまう、おそろしい「突然死」ですが、実は、前触れが見られることも少なくありません。そのサインに気づくことができれば、心臓や呼吸が止まる前に救急車を呼ぶことができ、助かる可能性が大きくなります。

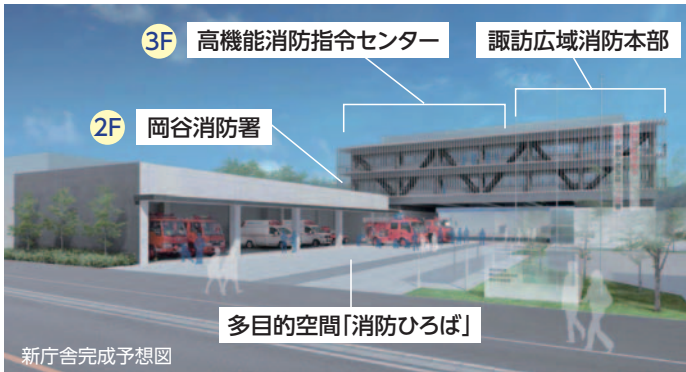
子どもの突然死の原因は、外傷、溺水、窒息などの事故が多いので、日常生活に十分注意し、事故を未然に防ぐことが何よりの予防です。

成人の突然死では、冠動脈や心臓の筋肉に血液を送る血管が詰まる急性心筋梗塞、脳の血管が詰まる脳梗塞、脳の血管が裂けるくも膜下出血などが多く見られます。初期症状に気づき、心筋や脳細胞のダメージの少ないうちに対処することが一番です。

【代表的な初期症状】

急性心筋梗塞…胸や背中 of 突然の激痛、急な息切れ、冷や汗、吐き気  
脳梗塞…体の片側に力が入らない、しびれを感じる、言葉がうまくしゃべれない、ものが見えにくい

くも膜下出血…生まれて初めて経験する非常に強い頭痛



新消防署展望！

平成26年度中の完成をめざして進められている「新消防庁舎建設事業」は、昨年、基本設計がまとまり、どんな機能を持った消防署になるのか、庁舎のあらましが明らかになってきました。現在は、より具体的に「実施設計」へと工程が本格的に進んでいます。そこで、決定している内容について概要を紹介します。

新消防庁舎は…こんな施設

① 災害応急対策の拠点として、十分に機能を発揮する庁舎

消防署として、何をおいても災害現場への迅速な出動を優先。24時間態勢で勤務する職員が、速やかに出動できるように、動線管理に重点を置き、緊急車両を中心に、執務室・食堂・仮眠室を効率よく配置。

② 地震などの大規模災害にも強く堅牢で、高度な機材を保護する庁舎

岡谷消防署や高機能通信指令センター・諏訪広域消防本部が配置される事務棟に「中間層免震構造」を採用し、消防機能を保全。単層階の消防車庫は、国の耐震基準に基いた堅牢な構造に。

③ 機能的で多目的に使用できる庁舎

雨天でも利用できる多目的空間「消防ひろば」を中心にレイアウトし、消防団員ほかの消防訓練はじめ、市民参加のイベントにも広く活用。大規模災害発生時には、「緊急消防援助隊」の大部隊をこのスペースに受け入れ。

④ 環境、経済性に配慮した庁舎

太陽光発電装置、事務棟の自然採光、ルーバー設置による日照負荷調整など、自然エネルギーを有効利用。岡谷の風向を計算し、空調設備にできるだけ依存しない快適設計を実現。

⑤ 市民に親しまれる庁舎

バリアフリー、ユニバーサルデザインを基本に、来庁者にやさしい構造とし、教育の環として行う庁舎見学においても、十分学習効果が期待できるよう配慮。

その他

ライフライン途絶時の消防機能保全のための設備、大規模震災発生直後の一時的な近隣住民の避難施設、震災対応型簡易トイレの設置、敷地内には耐震性貯水槽などの設備。